

編集後記

本号は、猛暑に芽吹き、秋風に磨かれ、木枯らしに鍛え、年明けに結晶。BIPROGY グループのデジタルコモンズが切り拓く未来を感じて頂ければ幸いです。（馬場定行）

本号をきっかけにデジタルコモンズが連鎖的に広がり、浸透し、社会課題解決に貢献する契機となることを願います。さらに技術者の協働を促して、持続的な技術の発展に与できれば幸いです。（栄田香織）

「デジタルコモンズ」は簡潔な用語定義だけでは一意に定まりにくく、時に複数の解釈が生まれがちです。本号の事例を通じ、皆様と共に理解を深め、未来社会の創造への歩みを共にする一助となれば幸いです。（香林愛子）

熊による人身被害が深刻化しており、人と熊が共存できる未来の道が模索されています。前号と本号で紹介した社会課題解決に関する当社の取り組みが、皆が安心して暮らせる世の中にするための活動をより活発化させることに少しでも繋がれば幸いです。（羽生貴史）

本号はデジタルコモンズをテーマに、その理論と実践、社会課題解決とビジネス価値の創出、組織・人・技術の繋がりと共に創、実現に向けた取り組みを、現場で生まれた知と共創の多様な知見としてまとめました。皆様と共に未来社会を創るきっかけとなれば幸いです。（林田英雄）

21世紀になってから25年が経過しました。その間に私たちの生活は大きく変わりました。2050年はどんな世の中になっているでしょうか。暑い日々に耐え続ける生活ではなく、持続可能な未来社会で幸せに暮らしたいですね。（白木和彦）

海外に日本のお菓子を持って行ったら過剰包装に驚かれた、という記事を読みました。意識してみると、毎日の内で当たり前に開封しては捨てているビニールや紙の多さに驚きます。なるべくゴミを減らせる商品を選ぶなど、持続可能な未来のために自分の行動も少しづつ改めていきたいと思います。（武本杏奈）

▶技報編集委員会

委員長 馬場定行
副委員長 栄田香織、香林愛子
委員 田代杏樹、山岡浩一、川原尚樹、
清家欽矢、川田清忠、川口真一、
林田英雄、羽生貴史、田中星一、
阿野弘喜、岩下忠資

▶技報編集事務局

編集制作担当 白木和彦、武本杏奈
(総合技術研究所)

●Editorial Board

S. Baba (Chairman)
K. Sakaeda, A. Korin (Vice Chairman)
A. Tashiro, K. Yamaoka, N. Kawahara,
K. Seike, K. Kawata, S. Kawaguchi,
H. Hayashida, T. Hanyu, S. Tanaka,
H. Ano, T. Iwashita

●Editorial Staff

K. Shiraki, A. Takemoto
(Technology Research & Innovation)

ISSN 2758-352X

技 報

BIPROGY TECHNOLOGY REVIEW

Vol. 45 No. 3 (No. 166)

発 行 日 令和7年12月31日
編 集 人 馬場 定 行
発 行 人 葛谷 幸 司
発 行 所 BIPROGY 株式会社
〒135-8560
東京都江東区豊洲1-1-1
TEL(03)5546-4111（大代表）
印 刷 所 三美印刷株式会社

禁無断複製転載